

Oracle Enterprise Performance Management Cloudを使用した連邦民 間機関における予算の作成および執行



免責事項

下記事項は、弊社の一般的な製品の方向性に関する概要を説明するものです。また、情報提供を唯一の目的とするものであり、いかなる契約にも組み込むことはできません。マテリアルやコード、機能の提供をコミットメント（確約）するものではなく、購買を決定する際の判断材料になさらないでください。オラクルの製品に関して記載されている機能の開発、リリースおよび時期については、弊社の裁量により決定されます。

連邦予算作成のための便利なツール

Oracle Enterprise Performance Management Cloud（Oracle EPM Cloud）は、予算の作成および執行に必要な多数の作業を達成するための、連邦機関を対象とした市販の既製（COTS）ソリューションです。

予算局、プログラム・マネージャー、組織マネージャー、予算分析において、Oracle Essbaseの多次元な能力を活かし、EPM Cloudの計画立案、予測、レポート作成の機能を利用して精度を向上させることができ、予算作成プロセスで通常使用されるMicrosoft Excelスプレッドシートを数多く作成、管理しなくてもすむようになります。

Oracle EPM Cloudにより、連邦機関は各機関固有のニーズに合ったソリューションを導入できるようになります。高い柔軟性を備えた、クラス最高の統合戦略、財務、人員配置、資本、プロジェクト策定のフレームワークをそのまま活用することも、各機関に合うよう対象を絞り込んで構成されたソリューションを構築することもできます。

Oracle EPM Cloudには、機関の業務変化に応じて計画立案プロセスを発展させることが可能な直観的ビジネス・ウィザードによって、運営および財務双方の計画立案プロセスに対応可能なスケラビリティが備わっています。さらに、便利な分析機能、ダッシュボード、what-if機能、予測機能により、機関の予算のあらゆる側面においてこれまでになかったインサイトが得られます。

とりわけ、Oracleがシステムを運用、保守、そして定期的に更新しているため、インフラストラクチャへの資本投資が不要です。

ベスト・プラクティスの構成可能なビジネス・プロセス・モジュールは、最小限の労力で稼働でき、計画立案のニーズが発展しても保守が容易になるよう設計されており、実装に要する時間が短縮されます。実装に長期間かけるのではなく、短期間で成功を確立し、導入した新たなプロセスの成功に基づいて、より迅速に計画立案プロセスを熟成させることができます。この作業は、使いやすいウィザードで行うことができます。製品に対する深い理解をスタッフに求めるのではなく、ステップ・バイ・ステップ式のウィザードでビジネスの質問にスタッフが答えるだけです。そのためテクノロジーに詳しくない担当者であっても、複雑な計画立案プロセスを設計できます。より深い理解を求めるスタッフ向けに、さまざまなビデオや学習ガイドも用意されています。

予算の作成と分析は、パーソナライズされたWebデータ入力フォーム、またはOracleのMicrosoft Officeプラグイン（Oracle Smart View for Office）を利用したMicrosoft Excelフォームを使用して行うことができます。これにより、エンドユーザーはMicrosoft Excelの機能を十分に活かしながら、安全な集中型ソリューションを利用できます。組込みセキュリティとウィザードが予算作成担当者のガイド役となり、同じ予算の異なる部分に対し複数のスタッフが同時に作業できます。ユーザー定義の電子ワークフローにより、予算データは機関全体の承認担当者宛に、定義済みの承認ルールに基づいた通知とともにシームレスに移動します。

ベスト・プラクティスの構成可能なビジネス・プロセス・モジュールは、最小限の労力で稼働できるよう設計されており、実装に要する時間が短縮されます。

Oracle Essbaseが持つ多次元な機能により、ボタンをクリックするだけで希望のさまざまな形式（次元）でデータを閲覧できます。さまざまなビューを表示するために、期間、エンティティ、オブジェクト・クラス/アカウント、シナリオ、バージョン、会計年度、プログラム、資金など、複数のタブを持ったMicrosoft Excelワークシートを保守する必要はありません。マウスでクリックしたり、ドラッグ・アンド・ドロップしたり、シンプルな操作でデータの表示方法を変えることができます。特に非定型問合せをオンラインで実行する場合、この表示機能により、ユーザー・エクスペリエンスが強化されます。

財務およびHRのパッケージ・システムについては、ソース・システムとの間で双方向に統合されます。機関の中核となる財務システムの実績データは、Oracle EPM Cloudへ投入することができ、また処理結果を総勘定元帳に書き戻すことができます。財務システムと給与システムから実際の給与データとスタッフ・データをOracle EPM Cloudにアップロードして、計画立案プロセスを配布したり、計画と実際の結果とを比較したりすることもできます。このデータ統合は、クラウドとオンプレミスの両方のデータソースに対応し、Oracleベースではないソリューションにも対応しています。

Webベースのレポートは、カレンダー・イベントやルーティングに基づく例外レポートと同様に作成できます。グラフィックとテキストを織り交ぜたレポートは、HTML、PDF、Microsoft Office（Excel、PowerPoint、Word）など、さまざまな形式で生成できます。

高度なモデル作成機能や予測分析機能により、複数のwhat-ifバージョンを作成したり、さまざまなwhat-if仮説に基づいてデータのスライス&ダイス分析を行ったりできます。計画立案ではローリング予測ウィザードを使用することができ、予測対象期間が時間の経過とともに何年も先に伸びる、ドライバベースのローリング予測プロセスの実装が簡単になります。

高度なシナリオ・モデリング・フレームワークが組み込まれており、シナリオ・ブレディング、モンテ・カルロ・シミュレーション、負債・資本構造管理といった搭載機能を使用し、高速で変化するビジネス・ダイナミクスについて、対象を絞った長期間にわたる状況に応じた予測モデルをすばやく作成することができます。

計画立案は、財務部門だけにとどまるものではありません。事業計画立案を非常にうまく実施している組織は、各部門の計画担当者や財務部門の計画が、それぞれの関係者に相乗効果を提供できる形で連携されています。計画立案では独自の"連合型"アーキテクチャを用いることで、こうした連携を可能にしています。このアーキテクチャによって、各部門の計画担当者の独立性を確保しつつ、組織全体では関連する計画立案プロセスを連携し、それらに一貫性を持たせることが可能になっています。このアーキテクチャは、次の2つの基本原則に基づいています。

- **業務の独立性** 計画担当者はその成功のために、計画立案プロセスの'所有権'が必要です。まず計画担当者は、業務レベルの詳細さ（例：財務では通常必要とされない詳細レベル）で計画する必要があります。これは、計画立案の次元が異なる、つまりよりきめ細やかなデータが必要となる可能性があります。
- **複数の計画の相乗効果** 相乗効果と連携のために計画を連携させる必要があります。たとえば、管理とガバナンスを強化する形で、さまざまな業務計画（例：プログラム管理、部門管理、サプライ・チェーン、HR、IT）を企業財務と連携させる必要があります。Oracleソリューションの連合型アーキテクチャでは、必要に応じて計画と計画の間でデータとプロセスを共有できます。この共有により、計画担当者間での相乗効果とコラボレーションを可能としながら、計画担当者ごとの独立性とプライバシーも確保されます。

計画立案の文化を企業環境に定着させ、業務の詳細にもっとも詳しい計画担当者の知識を掘り起こすことができます。

Oracleクラウドでは、企業全体への計画立案の展開をより現実的に行えます。連携されていない数多くの計画を保持する代わりに、Oracle EPM Cloudの連合型計画立案アーキテクチャによって、計画立案領域における連携と相乗効果が可能となります。これにより、計画立案の文化を企業環境に定着させ、業務の詳細にもっとも詳しい計画担当者の知識を掘り起こすことができます。

Oracleソリューションは、Oracle Hyperion Planning、Hyperion Financial Managementなど、他のオンプレミス・エンタープライズ・パフォーマンス計画立案システムに対するシングル・サインオン（SSO）とレポート作成機能もサポートしています。このため、既存の財務システムへの投資を活かしながら、クラウドベースの計画立案ソリューションのメリットを享受することができます。

予算の作成

連邦機関の予算事務局

連邦機関の予算事務局は、予算ガイドを開発したり、プログラム・マネージャーや組織マネージャーが入力するしきい値や組込み編集機能を備えた、Microsoft Excelに似たターンアラウンド型のテンプレート（前年の予算や実績も保存）を作成したりできます。予測金額および計算金額は、その根拠を示すテキストに直接リンクできます。

連邦議会予算書添付書類の書式（債務引当金額、変更の要約、活動ごとの権限額、認可法、歳出履歴一覧、対象ごとの権限額、給与と支出、フルタイム換算雇用（FTE）の詳細、職名の詳細、パフォーマンス目標ごとの予算データ、予備予算データなど）はすべて、Oracle EPM Cloud内で作成できます。詳細レベルおよび要約レベルの情報はすべて、連携されていない独立したMicrosoft Excelスプレッドシートではなく、システム内に格納されます。

電子的ワークフロー

Oracle EPM Cloudは、単純なものから非常に複雑なものまで、さまざまな予算関連プロセスをサポートする効率的なワークフローと計画管理フレームワークを提供します。たとえば、計画と予算の進捗の簡単な追跡から、コミュニケーションを促す電子メール通知、アラート、タスク・リスト、ナビゲーション・フローなどの複雑なプロセスまでサポートしています。

承認パスは、予算の各部分ごとに指定することができます。そのため、予算が提出されると、システムにより次の承認者が自動的に特定されます。計画のプロモーション・パスは、特定の基準を満たすための条件として機能することができます。たとえば、旅費の予算が全体予算の5%を超えている場合、通常の予算承認の手続きに従って次の処理に進む前に、特定の職員によるこの予算計画の承認を必要とするようにシステムを設定できます。

上記のプロセスはすべて、選択したシナリオを管理チェーンの上位に進めて承認を求める前に、複数のシナリオを比較、対比することができるようwhat-if分析やシナリオ・テストと連結して実行することもできます。



ファイルを添付した電子メールを使用する代わりに、予算ガイドが提供されたというアラート通知をプログラム・マネージャーおよび組織マネージャーが受け取ります。プログラム・マネージャーおよび組織マネージャーは、システムにアクセスするためサインインし、資金要求についての作業を開始するだけです。タスク・リスト、カレンダー、期限を含めることもできます。予算事務局は、連邦機関全体の期限日カレンダーを使用してすべてのタスクを管理したり、タスクの完了を自動的に監視したりすることもできます。組織のスケジュールと予算説明書の提出が遅れると、関連するすべての当事者に自動的にアラートが送られます。

連邦議会予算説明書 (Budget Book) の作成

Oracle EPM Cloudでは、連邦議会予算説明書(Budget Book)のあらゆる側面について作成と管理を行うことができます。書式を整えた説明書 (Microsoft Word) 、そしてスケジュールやグラフはすべて、ページに差し込んだり、ユーザー定義の節や項で構成される単一の文書に差し込んだりできます。目次、ページ番号付け、しおり、開始/終了ページ、章の開始/終了ページ、グラフィック/テキストのオーバーレイ、相互参照、文書分割に対応しています。

Budget BookはPDF形式で出力できます。連邦機関全体で作成されたBudget Bookの各ページは、コンテンツ管理およびバージョン管理がなされる単一の文書へと統合できます。さらに、作成したBudget Bookは後年、新しいBudget Bookのベースとして再利用できます。Oracle EPM Cloudは、安全で柔軟性が高く、一元化されたWebベースのリポジトリを提供し、策定と承認から、公開、検索、有効期限満了、アーカイブまたは廃棄に至るまで、コンテンツ・ライフサイクルのすべてのフェーズを管理します。

上記の機能すべてがBudget Book作成に要する時間と労力を最小限にし、誤りを減らしながら、多大なメリットをさらにもたらします。Budget BookのすべてのスケジュールとグラフはOracle EPM Cloudで作成されるため、変更が必要になった場合、新しい金額/数値は元の計画立案スケジュールに入力され、バージョンで管理されます。変更後の金額/数値は、Budget Bookのスケジュールとグラフにおいて自動的に更新されるだけでなく、Budget Bookの段落に含まれる金額/数値も自動的に更新されます。ベースライン・スケジュールがBudget Bookと同期していないという心配をする必要はありません。

Office of Management and Budget (OMB) Passback

Oracle EPM Cloudは、OMB Passbackの影響分析に伴う作業を簡素化します。提案された変更は、Oracle EPM Cloud内にある元のスケジュールに対して加えることができ、予算要求の作成に使用されます。変更は自動的に、Budget Bookを含む、予算のすべての部分に自動的に反映されていきます。

Oracle EPM Cloudの多次元機能により、予算金額と達成目標に対する変更の影響に加え、FTEの変化によるドルへの影響、およびドルの変化によるFTEへの影響について容易に確認できます。各予算会計について、予算承認と支出の見積、目的別のスケジュール、従業員データなど、MAXコンピュータ・データ用のさまざまなスケジュールをシステムから簡単に利用できます。

プログラム・マネージャーおよび組織マネージャー

予算は連邦機関全体を通じボトムアップで構築することができ、Budget Bookは個別に作成するのではなく、Oracle EPM Cloudから直接組み込まれる添付書類、スケジュール、グラフとともにMicrosoft Wordで作成できます。これにより、誤りの生じる可能性と複数のスプレッドシートを維持する必要がなくなります。

給与と利点の予測は、個人単位、職務単位、FTE単位で作成できます。

'Workforce'モジュールは、機関各所の従業員に関連する職員配置要件を扱います。

従業員予算作成モデル構築機能

Oracle EPM Cloudに特有な側面の1つに、職務ごとの予算作成機能があります。既存の従業員と雇用予定の従業員を既存および新規の職務に関連付けて、職務レベルの予算に対するさまざまなソースの資金割り当てを管理し、将来予定される変更を効率的に管理します。

Oracle EPM CloudはHCM Cloudとの統合をサポートし、HRシステムのベースライン・データのインポート、および予算作成プロセスの一部としてこのベースライン・データを修正する機能をサポートします。等級ベース、定率ベース、価値ベースの給与計算など、給与および給与以外に関するさまざまな補償要素もサポートします。さらには、予算最終決定の前に決定事項とサービス・パッケージの評価ができるよう、シナリオとバージョンをふまえた柔軟な方法により、職務データと従業員データに対する将来の日付での変更を完全にサポートしています。

Oracle EPM Cloudは連邦機関の給与システムおよびHRシステムとリンクできます。雇用人数や給与明細といった実際の給与情報は、出発点としてマネージャーの計画に投入できます。要求された新規人員は、職務と等級に基づいて費用計算できます。さらに、各職務に必要なラップトップやトレーニングなど、FTEサポート費用は一般的なもの、固有のものを問わず、自動的に適用できます。Oracle EPM Cloudにより、組織全体における雇用人数、給与、補償の計画立案を高速化および効率化します。



すぐに使用できる事前構築済みの機能とベスト・プラクティスにより、人員配置計画および人員配置関連費用（ボーナス、福利厚生、残業手当など）が簡素化され、メリットが拡大します。Oracle EPM Cloudは、人員配置費用の計画を自動的かつシームレスにリンクすることにより、人員配置に関する決定が支出計画全体に与える影響をリアルタイムで正確に認識できるようにします。運転資金財源の予算を作成し、サービス・コンポーネントに配分することもできます。

予算の執行

Oracle EPM Cloudは、Standard Form 132、ApportionmentおよびReapportionment Scheduleの作成をサポートするのに必要なデータの多くを生成できます。プログラム・マネージャーおよび組織マネージャーへの配布および財務システムへのアップロードのための電子的な割り当てと許可を作成できます。資金を"一括"し、"割り当て対象"と"割り当て元"の抑制と均衡をふまえて資金計画をやり直す機能により、年度の途中に調整を行うことができます。

プログラム・マネージャーおよび組織マネージャーに提供される機能

利用可能な資金をふまえながら支出を追跡することは、連邦機関に務めるマネージャーたちの主たる責務です。Oracle EPM Cloudにはマネージャーを支援する機能が数多く備わっています。

運営計画ダッシュボード

Oracle EPM Cloudを使用することで、組織単位、プログラム単位、オブジェクト・クラス単位はもちろん、月単位、四半期単位、そして週や日の単位でもマネージャーは運営計画を作成できます。実際のコミットメント、債務、経費は、連邦機関の中核的財務システムからアップロードして、運営計画に照らして比較することができます。さらに、Oracle EPM Cloudは連邦機関の財務システムにリンクすることができるため、ソースの詳細を分析することができます。

現在、多くの組織では予算アナリストおよび管理責任者が、スプレッドシートや他のシステムで保持している財務記録と、財務システムに記録されたデータとを継続的にすり合わせる必要があります。会計士用の便利なツールでもある、財務システムによる資金ステータス・レポートでは、支出の決定に必要な情報のすべてがマネージャーに与えられるわけではありません。このレポートは、連邦機関の公式の台帳に記録される債務と経費に基づいているため、後に支出される予定の経費は考慮されておらず、資金の取り崩しが検討される可能性があります。

Oracle EPM Cloudは、計画されているこのような支出のためのプレースホルダを提供し、不注意で資金が使われないようにします。ダッシュボードおよびレポートを作成し、財務システムによる資金ステータスに基づいて、予算計上済み、コミット済み、債務確定済み、および支出済みの金額に関する情報を、支出予定は差し引いた状態で表示し、マネージャーが使用可能な資金かどうか判断できるようにします。

給与は、ほとんどの連邦機関において重要な費用項目です。マネージャーは、年間を通じ、連邦機関の給与システムに接続して給与支払いコストを予測し、このオブジェクト・クラスに対する予算資金が見積もり費用に対して適正水準になるようにできます。さらに、給与支払いモデリング機能も利用できます。

まとめ

連邦機関における予算作成向けのOracle EPM Cloudは、多次元のエンジン、組込み済みの人員配置計画機能、電子的ワークフロー、"Budget Book"作成機能を備えるほか、コンテンツ管理やビジネス・インテリジェンス統合も可能で、予算事務局、プログラム・マネージャーおよび組織マネージャーといった連邦機関のあらゆる側面に最新の技術がもたらされます。さらに、あらゆるレベルのセキュリティを備えた単一のソリューションを組織全体で使用できるため、連邦機関の戦略的計画やパフォーマンス・アカウントビリティのレポートはすべて、上記の機能を使用して作成することができ、連邦機関の詳細な運営予算と統合させることができます。

このホワイト・ペーパーは、OracleのFederal Strategic Programs部門Joseph Scalfaniが作成しました。

CONNECT WITH US

0120-155-096までご連絡いただくか、oracle.comをご覧ください。

北米以外の地域では、oracle.com/contactで最寄りの営業所をご確認いただけます。

 blogs.oracle.com/oracle

 facebook.com/oracle

 twitter.com/oracle

Integrated Cloud Applications & Platform and Services

Copyright © 2020, Oracle and/or its affiliates. All rights reserved. OracleおよびJavaはOracleおよびその子会社、関連会社の登録商標です。

その他の名称はそれぞれの会社の商標です。